

# DD児童・生徒を対象とした クリニックでの個別の言語療法

平谷こども発達クリニック  
言語聴覚士 榊 智史

# クリニックでの診断の流れ（小学生以上）



## 読み書き評価の目的

- ① 読字・書字の流暢性と正確性の正しい評価
- ② 生活年齢から期待される能力より低い
- ③ 併存症による読字能力への影響  
(知的能力・ASD・ADHDとの関連性)

# 読みの流暢性と正確性評価のための検査

特異的発達障害  
診断・治療のための  
実践ガイドライン  
(稲垣真澄他)



読みの流暢性  
(スラスラと読めるか)

読みの正確性  
(正しく読めるか)

STRAW-R  
標準読み書き  
スクリーニング検査  
改訂版  
(宇野彰他)

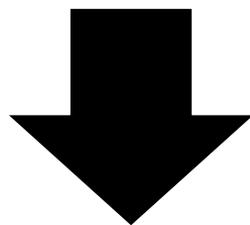


読みの流暢性  
(スラスラと読めるか)

読みの正確性  
(正しく読めるか)

書きの正確性  
(正しく書けるか)

# ディスレクシア児童（7歳男児）の音読検査の特徴



としより	しゃしん
かねもち	ばいきん
かけあし	めじるし
もちぬし	しゅるい
ふろしき	ふるさと

「しゃ、しよ．．  
しゃん」

「しよ、しよるい」

- ・ 読みがたどたどしく（逐次読み）、時間がかかる。
- ・ 拗音など特殊音節の誤りが多い。

# K-ABC II (Kaufman Assessment Battery for Children)

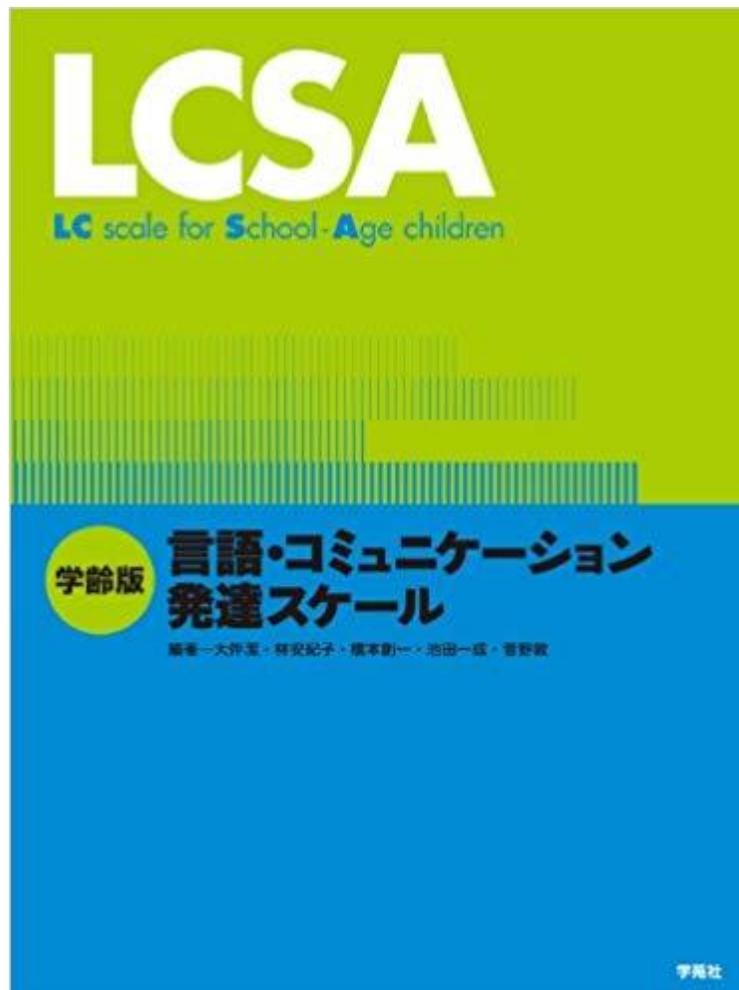


## 評価項目

- 認知特性の評価  
(継時処理・同時処理)
- 基礎学力の評価  
(語彙・読み・書き・計算)

→対象児にあった学習スタイルの  
評価・提案

# LCSA(学齡版言語・コミュニケーション発達ツール)

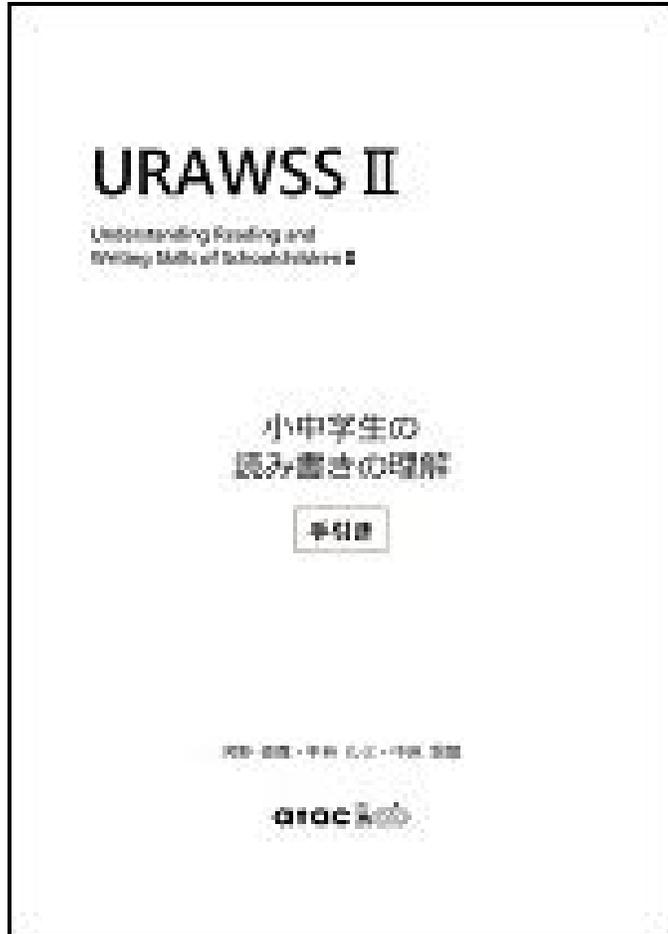


## 評価項目

- 文や文章の聴覚的理解
- 語彙や定型句の知識
- 発話表現
- 柔軟性
- リテラシー（音読・文章読解・音韻意識）

→読み能力を含めた、言語発達全般を評価

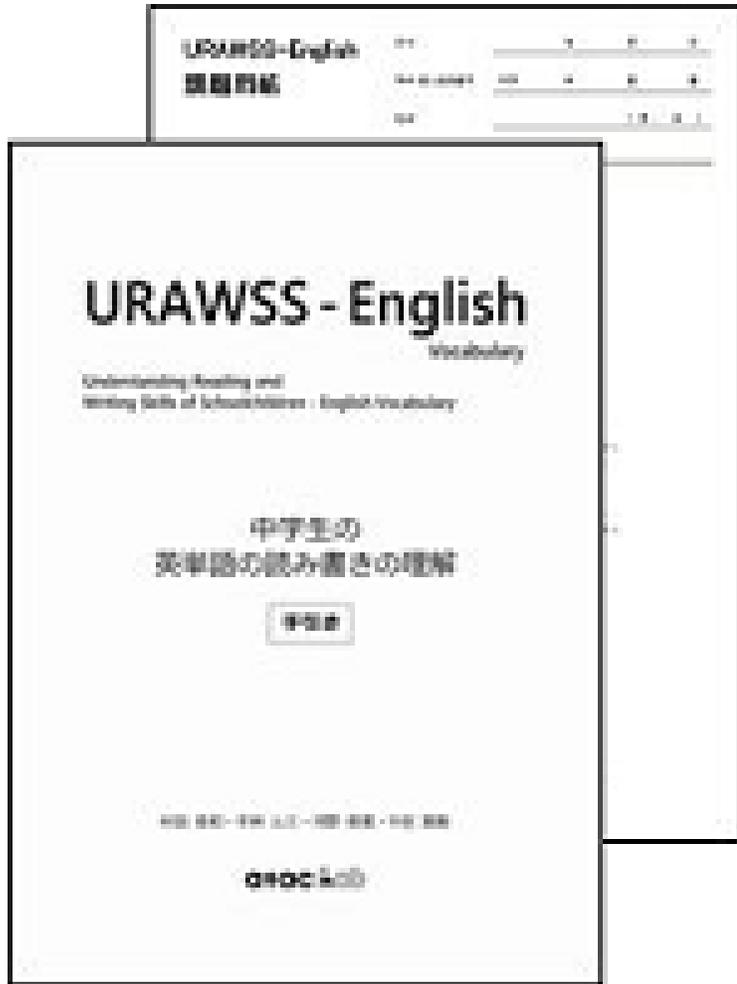
# URAWSS II (小中学生の読み書きの理解)



## 評価項目

- 読み書きの速度
- 読解力
- 介入（音声補助、ワープロ出力等）の効果の検討

# URAWSS-English (中学生の英単語の読み書きの理解)



## 評価項目

- 英単語の理解
- 音声理解と文字理解での比較
- 英語表記、仮名表記での比較

# WAVES

## 「見る力」を育てるビジョン・アセスメント



### 評価項目

- ・ 眼球運動  
→スムーズに読む
- ・ 視知覚  
→文字を正確に捉える、書く
- ・ 目と手の協応  
→文字を正確に書く

評価をもとに

子どもの一人ひとりにあった支援・療育を実施

本人の読み書き能力に対する介入

音韻意識の促し  
読みのルール指導

語彙力・言語  
能力の向上

文字・漢字の形態認知、  
意味理解の促し

etc...

学習面の環境設定に関わる介入

拡大プリント、わかち書き  
ふりがなをふるなどの読  
みの表記の配慮

Ipad等の支援機器、  
デイジー教科書  
などの代替方法の提案

学習量・段階の調整  
学校との連携などの  
環境調整

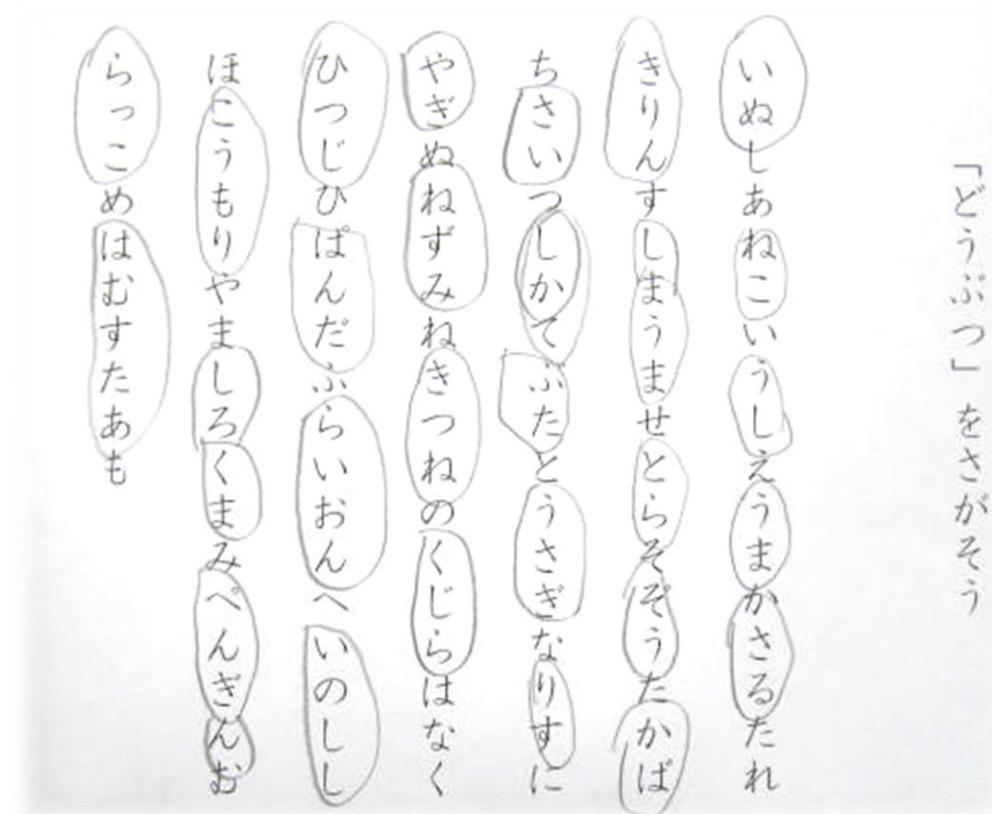
etc...



# 読みのルール 正確性の促し



かるた、キーワード



まとまり読み



MIM

# 語彙力 言語能力の向上



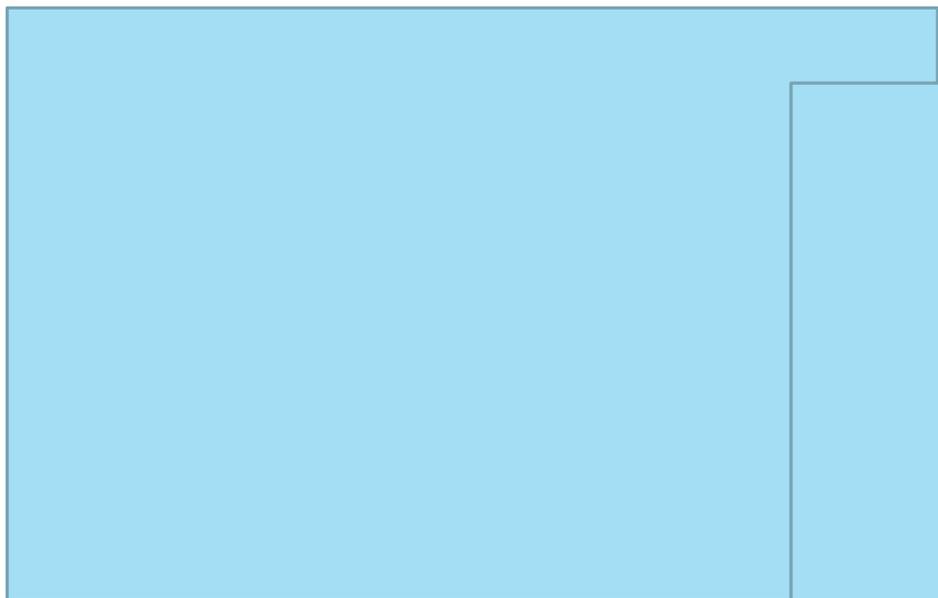
クロスワード

## ひらめきマップ

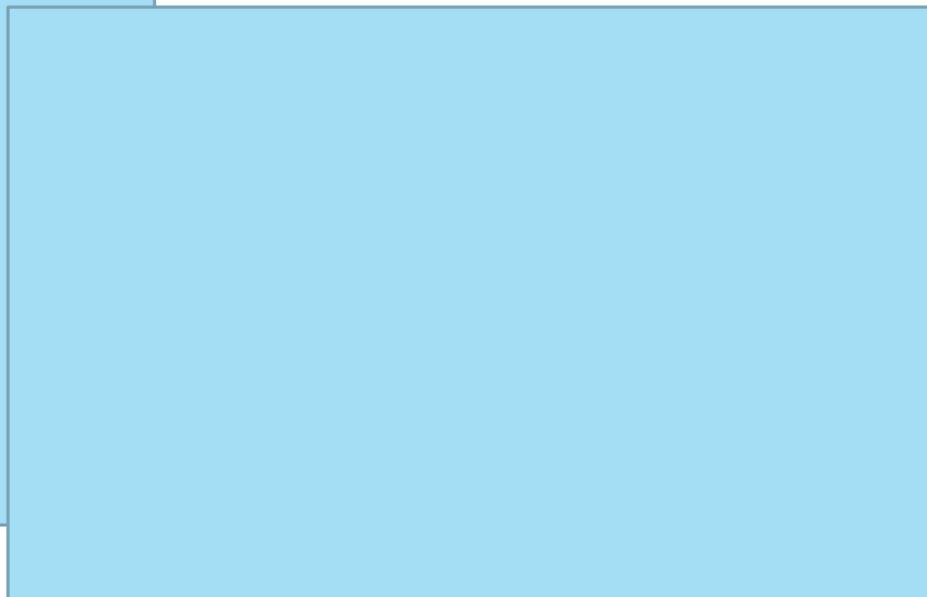


5WIHの整理

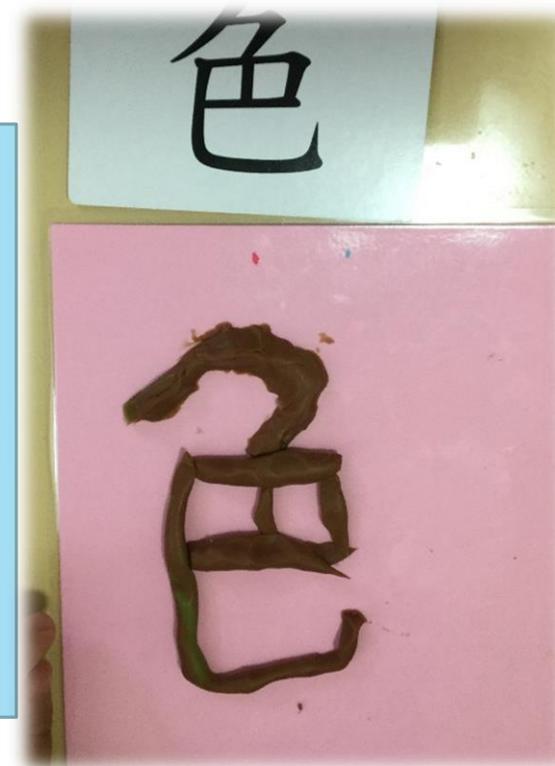
視知覚  
形態認知の促し



輪ゴムボード



図形模写



粘土での漢字作り

# 症例紹介

男児（小学校4年生）

診断名：読字障害（発達性ディスレクシア）  
注意欠陥多動性障害（混合型）

主訴：読み書きが苦手（漢字が覚えられない）

経歴：幼少期、ことばの遅れなどはなかった。

就学前は文字に関心示さず、就学後読み書きの苦手さが顕著に表れ、クリニック来院  
診断後、週1回の言語療法を開始。

# 検査結果と評価①

## I) K-ABC II

認知 総合尺度	継次 尺度	同時 尺度	計画 尺度	学習 尺度
76	72	90	100	61
習得 総合尺度	語彙 尺度	読み 尺度	書き 尺度	算数 尺度
95	105	79	93	102

## 検査結果と評価②

### 2) 音読検査 (稲垣式)

	単音	有意味語	無意味語	単文
流暢性	-2.7SD	-15.6SD	-9.9SD	-4.7SD
正確性	-12.4SD	-13.4SD	-7.4SD	-5.4SD

### 3) STRAW (書取・単語)

	平仮名	カタカナ	漢字
正確性	-4.5SD	-3.3SD	-6.3SD

# 検査結果と評価

- ① 読みの苦手さ（流暢性・正確性の低下）が、文章理解、漢字の定着など学習面に影響している。
- ② 特に新奇な事柄に関して、記憶の定着の弱さあり。
- ③ 語彙、知識などの結晶性能力は年齢相応に育っている。
- ④ 同時処理型の指導が有効だと考えられる。
- ⑤ 文脈的な要素があると物事を理解しやすい。

## 言語療法での目標

- ①漢字の読み・意味理解の定着
- ②文章理解

## 指導方針

- ①持っている知識・語彙を活用した意味付け学習
- ②文脈、関連付け、視覚的な手がかりを活用した学習
- ③課題意図に合わせて、読み書きの代替手段を活用する。

# 指導内容

## ①イラストと熟語のマッチング、漢字の読みの確認

視覚的なつながり  
イメージ

熟語と合わせて  
の意味付け



# 指導内容

## ②熟語を用いての文章作成（アウトプット作業）

文脈のなかで  
意味理解の促し

自身のエピソード等  
との関連付け

親切な人が人を救助をしました。  
今の暮らしは、便利です。  
単位は、数字に付けることができる。  
得意なことは、走ることです。  
工作で木を加工しました。  
豆の種類は、多いです。  
僕が日本の国民です。  
今日の宿題の答えを伝言した。  
ケンカをして仲間われをした。  
ジェットコースターに乗る時は勇気が必要  
船で海に航海に出る  
宿題に努力が必要  
貯金箱に貯金をする

書く負担を減らせる  
よう、Ipadで入力



# 再評価（半年後）

## K-ABC II

	初回評価時	再評価時
ことばの読み	8	9
文の理解	5	10
読み尺度	79	96

## STRAW-R

単語の音読（漢字）	
19/20正答	学年平均（16.4±4.1）

# 考察

漢字の読み、文章理解に改善がみられた。

また誤答になった設問でも「姉」を「ねえさん」と読む等、意味は捉えている様子であった。

本児の語彙力、同時処理型の認知特性を生かした指導が漢字の読み・意味理解の定着を促したのではと考えられる。

# 個別の評価

学力

置かれて  
いる学習環境

学習意欲

苦手さの要因

強い認知特性

興味・関心

知識・語彙力



一人ひとりにあった指導・支援へ